

# じょうが 蜻蛾ノ瀬戸航路の概要

- ▶ 蜻蛾ノ瀬戸航路は、壱岐郷ノ浦港西方に位置する延長2kmの狭水道で、博多方面より壱岐西岸各港及び対馬方面へ至る近道として、貨物船、旅客船、フェリーの主要航路として重要な役割を果たしている。
- ▶ 航行船舶の安全を図るため、昭和49年度に開発保全航路に指定され、昭和51年度から航路整備に着手。蜻蛾島の半分を取り除き、昭和63年3月に航路幅員200m、水深-6mを完成し供用を開始。現在は国が航路の保全業務を実施。
- ▶ 近年、蜻蛾島の既設法面保護工の老朽化が進展しているため、消波ブロックによる法面保護対策に着手したところ。

## 位置図



## 蜻蛾ノ瀬戸航路全景



## 蜻蛾ノ瀬戸を航行する船舶



フェリー

## 蜻蛾島既設法面保護工の老朽化の状況

